



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 セコニック

コード番号 7758 URL <http://www.sekonic.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 荒井 宏

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 荒木 強

TEL 03-3978-2327

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,606	△13.9	△53	—	△46	—	△43	—
23年3月期第1四半期	3,025	20.6	82	—	72	—	34	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △34百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △149百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△2.74	—
23年3月期第1四半期	2.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	9,777	5,622	56.9	350.48
23年3月期	9,769	5,657	57.3	352.33

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 5,566百万円 23年3月期 5,595百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,100	△21.0	10	△93.8	10	△92.1	5	△90.7	0.31
通期	11,500	△6.5	200	△1.2	200	18.4	100	39.0	6.30

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	16,800,000 株	23年3月期	16,800,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	917,884 株	23年3月期	917,832 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	15,882,142 株	23年3月期1Q	15,883,769 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災による企業の生産活動の停滞に加え、電力の供給不足や原子力発電所事故の長期化等により、先行き不透明な状況で推移しました。このような状況のもと、当社グループは販売活動に一層注力するとともに、業務の効率化を推進し各製品の採算性の向上に努めましたが、売上高は2,606百万円（前年同期比13.9%減少）となり、利益面につきましても売上高の減少が大きく影響し、営業損失は53百万円（前年同期は営業利益82百万円）となりました。また、経常損失は46百万円（前年同期は経常利益72百万円）となり、四半期純損失は43百万円（前年同期は純利益34百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（事務機器）

事務機器は、プロッタの受注が増加したこと等により、売上高は1,201百万円（前年同期比9.2%増加）となり、営業利益は6百万円（前年同期比67.2%減少）となりました。

（光学電子情報機器）

光学電子情報機器は、入力機器の需要減や、監視カメラの受注減等により、売上高は749百万円（前年同期比37.8%減少）となり、営業利益は72百万円（前年同期比63.1%減少）となりました。

（電装機材）

電装機材は、基板実装や無機エレクトロ・ルミネッセンスの受注が減少したことにより、売上高は604百万円（前年同期比9.9%減少）となり、51百万円の営業損失（前年同期は営業損失47百万円）となりました。

（不動産賃貸）

不動産賃貸は、本社用地に建設した商業施設の賃貸により、売上高は51百万円（前年同期と同額）となり、営業利益は42百万円（前年同期比0.5%増加）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、0.4%増加し、6,541百万円となりました。これは主として仕掛品が増加したためです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、0.5%減少し、3,236百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて0.1%増加し、9,777百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、1.3%増加し、3,407百万円となりました。これは主として賞与引当金が増加したためです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.1%減少し、746百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて1.0%増加し、4,154百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、0.6%減少し、5,622百万円となりました。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の57.3%から56.9%になりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では平成23年5月13日に公表いたしました計画から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、「法人税等調整額」は「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,911	1,946
受取手形及び売掛金	2,753	2,726
商品及び製品	320	289
仕掛品	235	305
原材料及び貯蔵品	1,141	1,116
繰延税金資産	104	104
その他	50	54
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	6,516	6,541
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	928	905
機械装置及び運搬具（純額）	406	378
土地	881	881
その他（純額）	107	104
有形固定資産合計	2,324	2,270
無形固定資産		
ソフトウェア	55	48
その他	71	67
無形固定資産合計	126	116
投資その他の資産		
投資有価証券	751	798
その他	65	65
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	802	848
固定資産合計	3,253	3,236
資産合計	9,769	9,777

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,848	1,858
短期借入金	1,166	1,147
未払法人税等	12	4
賞与引当金	—	56
その他	337	341
流動負債合計	3,364	3,407
固定負債		
長期預り保証金	256	251
繰延税金負債	61	80
退職給付引当金	330	314
役員退職慰労引当金	5	5
その他	94	93
固定負債合計	747	746
負債合計	4,111	4,154
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,503	1,503
資本剰余金	1,759	1,759
利益剰余金	2,381	2,337
自己株式	△165	△165
株主資本合計	5,479	5,435
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	228	255
為替換算調整勘定	△112	△125
その他の包括利益累計額合計	116	130
少数株主持分	61	56
純資産合計	5,657	5,622
負債純資産合計	9,769	9,777

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	3,025	2,606
売上原価	2,593	2,334
売上総利益	432	271
販売費及び一般管理費	350	324
営業利益又は営業損失(△)	82	△53
営業外収益		
受取配当金	7	7
為替差益	—	3
その他	6	3
営業外収益合計	13	13
営業外費用		
支払利息	5	6
為替差損	15	—
その他	2	1
営業外費用合計	24	7
経常利益又は経常損失(△)	72	△46
特別利益		
補助金収入	6	2
その他	0	—
特別利益合計	6	2
特別損失		
固定資産除却損	0	2
投資有価証券評価損	1	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2	—
特別損失合計	3	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	75	△46
法人税等	40	1
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	34	△47
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△4
四半期純利益又は四半期純損失(△)	34	△43

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	34	△47
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△148	27
為替換算調整勘定	△36	△14
その他の包括利益合計	△184	13
四半期包括利益	△149	△34
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△146	△29
少数株主に係る四半期包括利益	△3	△5

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	事務機器	光学電子 情報機器	電装機材	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,099	1,204	670	51	3,025	—	3,025
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,099	1,204	670	51	3,025	—	3,025
セグメント利益又は損失 (△)	19	197	△47	41	211	△128	82

(注) 1.セグメント利益又は損失(△)の調整額△128百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△128百万円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	事務機器	光学電子 情報機器	電装機材	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,201	749	604	51	2,606	—	2,606
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,201	749	604	51	2,606	—	2,606
セグメント利益又は損失 (△)	6	72	△51	42	70	△123	△53

(注) 1.セグメント利益又は損失(△)の調整額△123百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△123百万円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。